

まほろば



2019.3
第211号

平成30年度 卒業式（看護学校）

平成 31 年 3 月 8 日（金）64 回生の卒業式が行われました。卒業証書を受け取り、看護師を志して駆け抜けてきたこれまでの 3 年間で走馬灯のように思い出され感慨深く感じています。2 学年後半から始まった実習では、患者様とご家族、たくさんの方々から多くの学びを得ることができました。これまで受け持たせて頂いた一人ひとりの患者様の顔を今でも思い出すことができます。実習中は、患者様が今必要な看護は何か、必要な看護ができているのか、毎日自問自答しておりました。同時に患者様から多くの勇気と励ましをいただきました。また、64 回生というかけがえのない仲間もできました。これまで出会ったたくさんの方々自分が自分を大きく成長させてくれたと感じています。看護師としてのスタート地点に立った今、一生懸命看護の知識を深め、技術を学び、自分ができる精一杯の看護を提供していきたいと考えています。

64回生：神 映子



第18回北東北国立病院医療研究発表会

青森病院、八戸病院、盛岡病院、秋田病院、松岡療養所、当院合同による第18回北東北国立病院医療研究会が2月16日（土曜日）、当院で開催されました。今回も多職種から計58の演題を発表頂きました。中でも今後、当院でより中心的役割を担うことが期待される2次救急の疾患を取り上げ、コメンテーターとして花田裕之 弘前大学救急災害医学講座教授、矢口慎也 弘前大学救急災害医学講座助教に参加していただき、貴重なご意見、アドバイスをいただきました。当院初期研修医である荒井冨衣子先生は呼吸困難を来した急速に増大する大細胞癌について、藤原智之先生はボルダリング競技者に起こった中指虫様筋損傷について、松山寛先生は胃癌術後の Y 脚の閉塞について、村上光太郎先生は意識障害を来した肝性脳症について発表されました。当院における救急医療の現状については、受診者年次統計をもとに予後不良な疾患群について解析し、我が国における高齢者死因の第二位と増加している肺炎の占める割合が、当院救急搬送例においても相応に多いことについて

発表させていただきました。高齢者の場合重複する疾患も多く、規定因子も多いため積極的治療の適応になりにくく、より重篤な病態であることが解りました。65歳以上の人口は、現在3000万人を超えており（国民の約4人に1人）、2042年の約3900万人でピークを迎え、その後も、75歳以上の人口割合は増加し続けることが予想されています。厚生労働省においては、2025年を目途に、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）の構築を推進しています。このためには在宅医療、1次～3次救急を含めた地域連携の構築・役割分担が必須です。今後中核病院として、連携における中心的役割を果たすため、教育・環境整備に対する取り組みがますます求められます。本研究会を教育・連携の場として継続するため、皆様方のご理解とご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

臨床研究部長：石黒 陽



私達の働き方、できることから見直そう～QC活動報告会～



どこに投票しようかな・・・

第1位 4階病棟のメンバー

昨年度から再開したQC活動は、今年度も病棟・外来・手術室の9部署が1年かけて取り組みその活動報告をしました。昨年の取り組みに比べ、テーマは経営・安全の観点から病院にとって重要な事項が選定され、要因解析のスキルもレベルアップしました。

働き方改革のことを考慮し、発表はポスター掲示とし、幹部・医師・コメディカル部門・事務部門・各病棟代表者等に投票権をもってもらい審査の形をとりました。

審査結果の上位のテーマは

- 1位 4階病棟 「正しく看護必要度をとりとう」
- 2位 手術室 「消毒薬の無駄は侮れません！破棄していませんか？無駄削減チャレンジ」
- 3位 母子センター「感染性廃棄物を減らしてコスト削減」

日頃、業務改善の必要性を感じていても、なかなか着手できずにいることが職場には沢山あります。QCストーリーを活用して、楽しみながら改善に向けて取り組む意識を高めていきたいと思えます。

審査員の投票率も昨年よりUPし、他部門の方々にも関心を寄せてもらえたことはとても嬉しく思いました。

中央手術室看護師長：清野 忍

ひなまつり お茶会

3月1日、風の子保育園にて「ひなまつりお茶会」を行いました。はじめに「うれしいひなまつり」の歌を歌い、ひな人形の三人官女や五人囃子は何をするひとかな？とみんなで考えながらひなまつりについてのお話を聞いたり、ゲームをしたりして楽しみました。そして、自分たちで作ったお雛様を披露しました。各クラス、とても個性的

で素敵な着物を着たお雛様ができあがりしました。最後に園児みなでお茶会をしました。抹茶ではなく、麦茶でのお茶会でしたが、ひなあられと大きな苺を食べ、子どもたちは「おいしいね☆」「毎日、ひなまつりだといいね♡」と話し、和やかな雰囲気にもまれたひなまつりお茶会でした。

風の子保育園 園長代理：木村 美千代



2019年度

新さくらナース

♡ 誕生 ♡



赤ちゃんとお母さんに優しい
新人に育てます！



患者さんに寄り添える
看護師になろう！



話しやすい雰囲気作り
をめざします！



新人に寄り添い
サポートします！



新人と皆を繋げられる
ようにします！



何でも言ってもらえる信頼関係をつくり
皆で新人を守ります！



新人が過ごしやすい
環境を作ります！



時には厳しく
ほとんど優しく！

春に咲く桜の花は私達を優しく包み込み、これからも頑張ろうと希望を与えてくれます。弘前病院ではこの桜と同じように、新人看護師を温かく包み込み、新人が希望を持って働いていけるように支援をしていく大切なナースのことをさくらナースと呼んでいます。新人看護師の教育計画を立て、新人看護師にとってとても重要な一年目をサポートしていきます。さくらナースは大切な新人看護師達のモデルとなり、一緒に支える頼りになる経験豊かな先輩達です。2019年春に迎える新人看護師を心待ちにしています。患者さんに寄り添える優しい看護師に育てるように目下準備中です。

副看護部長：黒澤 みゆき

外来診療一覽

◆外来医師診療一覽表 (2019年3月1日現在)

診療科	区分	月	火	水	木	金
循環器内科		熊本秀樹	横田貴志	熊本秀樹	熊本秀樹	熊本秀樹
呼吸器科		中川英之	山本勝丸	中川英之	山本勝丸	中川英之
		山本勝丸	下山亜矢子	下山亜矢子	下山亜矢子	下山亜矢子
		下山亜矢子	田中佳人	田中佳人	-	田中佳人
		-	石岡佳子	-	-	-
消化器・血液内科		松本明彦	相原智之	相原智之	松本明彦	相原智之
		山口公平	山口公平	松本明彦	山口公平	山口公平
		佐藤年信	千葉裕樹	佐藤年信	安田耕平	佐藤年信
		石黒陽	石黒陽	千葉裕樹	石黒陽	石黒陽
小児科		杉本和彦	佐藤工	敦賀和志	佐藤工	杉本和彦
		敦賀和志	梅津英典	佐藤啓	梅津英典	佐藤啓
		遅野井香純	-	-	-	遅野井香純
外科		柴田滋	山名大輔	柴田滋	山名大輔	三上勝也
		-	堤伸二	堤伸二	-	-
乳腺外科		小田桐弘毅	小田桐弘毅	小田桐弘毅	小田桐弘毅	小田桐弘毅
整形外科	午前	佐々木規博	秋元博之	秋元博之	藤田有紀 受付10時まで	秋元博之
		藤田有紀	藤田有紀	佐々木規博		佐々木規博
		猿賀達郎	市川奈菜	猿賀達郎		佐々木静
脳神経外科		-	-	木村正英	-	-
皮膚科	午前	熊野高行	佐藤正憲	佐藤正憲	熊野高行	熊野高行
		佐藤正憲	熊野高行	熊野高行	佐藤正憲	佐藤正憲
	午後	● 予約	● 手術/検査	● 予約	● 手術/検査	● 予約
泌尿器科	午前	成田拓磨	成田拓磨	成田拓磨	成田拓磨	成田拓磨
	午後	検査	検査	手術	検査	手術
産婦人科		飯野香理	丹藤伴江	丹藤伴江	● 妊婦健診 (一般外来休診)	飯野香理
		松村由紀子	小玉都萌	松村由紀子		追切裕江
眼科		蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義
耳鼻咽喉科		西澤尚徳	西澤尚徳	休診	西澤尚徳	西澤尚徳
		三橋友里	清水目奈美	-	-	-
放射線科	診断	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄
	治療	-	-	川口英夫 (午後)	-	川口英夫 (午後)
女性専用外来		杉本 菜穂子(※予約制/第1・第3水曜日午後診療)				
セカンドオピニオン		-	-	-	休診	-

※ 学会、出張などにより担当医師が替わる場合があります。

※ セカンドオピニオン外来は当分の間休診となります。

今月の川柳

★川柳募集★ あなたの川柳をお待ちしています。

雪消えて 日向ありて 靴が鳴る

(石沢)

リハビリの 足より笑ふ 日の近し

※掲載作品は広報誌編集委員会を選出したものです。

患者相談窓口

『患者相談室』のMSW(メディカルソーシャルワーカー)が対応していますので、お気軽にお尋ね下さい。

お知らせ

編集委員会より

当院の広報誌『まほろば』は、地域に信頼され、納得の医療で地域に貢献しつつ、地域と協働して歩む病院づくりを目指し、地域の方々を対象に編集しております。皆さまから病院に対して『不安なことや不満足なこと』『ご批判やご指摘』また、『お褒めのことば』を職員一同お待ちしております。

発行元



Hiroaki National Hospital
独立行政法人国立病院機構

弘前病院

責任者：副院長 小田桐 弘 毅

〒036-8545 弘前市大字富野町1番地

TEL 0172-32-4311

FAX 0172-33-8614

URL <http://www.aoi-mori.net/~hiroaki/>